

令和4年12月23日

小山市議会議長 福田 洋一 様

小山市議会改革推進協議会
会 長 橋本 守行

議会改革推進協議会報告書（答申）

標記の件について、貴職から当協議会に諮問された事項について、下記のとおり結論を得ましたので、小山市議会改革推進協議会設置要綱第6条に基づき答申いたします。

記

（議会運営関係）

1 通年会期について

他市の先行事例の調査研究を行い、通年会期を導入した際に考えられるメリットやデメリット、導入の際の課題などについて協議・検討を重ねました。その結果、通年会期の導入は見送り、まずは現行の臨時会や常任委員会、議員説明会などのさらなる活性化を図り、議論の場としてより一層活用していくべきである。また、次回の市議会議員選挙以降に通年会期導入の機運が高まった際は、再度検討を行う、という意見にまとまりました。

（議会の ICT 化関係）

2 YouTube 等の SNS の活用について

活用する SNS、掲載する内容、運用方法などの検討課題があり、次回の市議会議員選挙以降に本格的に議論を始めるため、今後調査・検討をしていく、という意見にまとまりました。

3 一般質問時のパソコン活用について

議場モニターに表示する画像について、細かくて見えにくいものへの対応や、議長が許可していないものを掲載される恐れがあることなど、運用のルールを次回の市議会議員選挙以降に策定したうえで導入すべき、という意見にまとまりました。

4 リモート会議導入に向けた調査研究について

会議は対面で行うべきであるとの考え方を基本とし、災害時などの緊急時における情報交換のためにリモート会議ができるよう体制を整える。また、議員全員がリモート会議ができるように研修などを行うべき、という意見にまとまりました。

以上